

第20回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成20年2月

応募者名:愛知県 豊田市 建設部 街路課

事業の名称:豊田都市計画道路事業

3・3・24 青少年公園線

実施都市名:愛知県豊田市

事業の目的

リニモ開業後の駅前広場は、移設前の愛知環状鉄道八草駅前に配置されていた広場を利用しており、駅と駅前広場は200m程度離れた位置となっていた。

当事業は、リニモと愛知環状鉄道の結節点として駅前広場を整備し、利便性の向上を図り、公共交通機関の利用を促進することを目的に整備を行った。

事業概要

事業名：豊田都市計画道路事業 交通結節点改善事業

路線名：3・3・24 青少年公園線

位置：豊田市八草町

面積：駅前広場A＝3,500m²

総事業費：290百万円

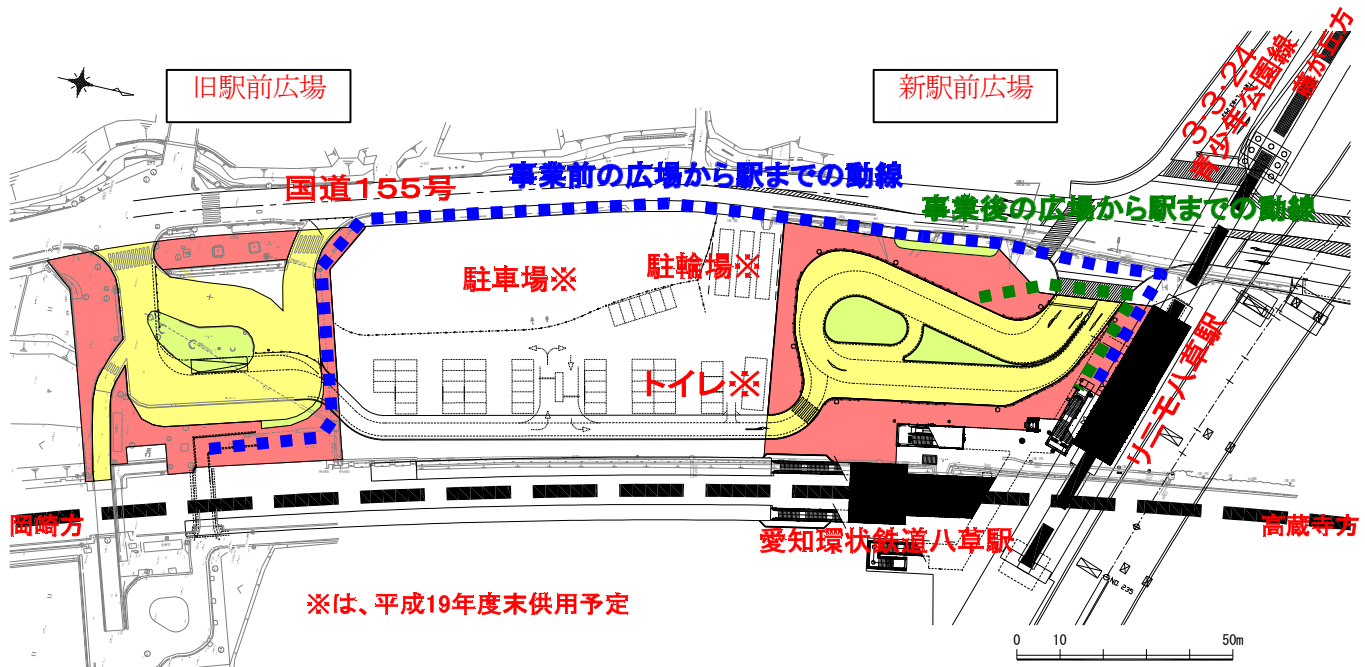
実施期間：平成14年度～平成18年度

八草駅周辺は、豊田市北部地域の「拠点地域核」に位置づけられ、平成17年3月にリニモ(東部丘陵線)が開業し、名古屋方面への新たな玄関口となることが期待される地区である。

また、リニモの開業に合わせて、愛知環状鉄道八草駅を北側に移設し、愛知環状鉄道とリニモの乗換利便性が確保されている。

八草駅前広場は、本総合駅の交通結節機能の向上を図るために整備した、面積3,500m²の事業である。

八草駅前広場の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名：豊田都市計画道路事業
交通結節点改善事業
路線名：3・3・24 青少年公園線
位置：豊田市八草町
面積：駅前広場A=3,500㎡
総事業費：290百万円
実施期間：平成14年度～平成18年度

○駅前広場の利用状況

【駅前広場利用者】

5,008人/日(H19.10.30)

【K&R利用者】

61台/4h ⇒ 122台/4h
(H18.10.19) (H19.10.30)

【リニモ八草駅利用者】

3,350人/日 ⇒ 3,799人/日
(H18.4～10) (H19.4～10)

八草駅前広場整備による主な効果

- ◎ 広場から駅までの移動距離が200m短縮 → 3分程度の移動時間短縮
- ◎ K&Rスペースの設置 → 利用台数2倍に増加
- ◎ 一体的・総合的な交通結節機能を強化 → リニモ八草駅利用者数13%増加

事業前 (H11.10)



事業後 (H19.10)



平成11年10月撮影



平成19年10月撮影

